

「生殖医療サポーターの会 OKAYAMA」

第 10 回ミーティング議事録

日時： 2008 年 2 月 21 日(木) 19 時～

場所： 岡山大学病院 南病棟 11 階 カンファレンスルーム D

参加者： 13 名

相澤亜紀, 江見弥生, 大森幸子, 門田貴子, 金子京子, 小橋未和, 杉山喜代美,
中塚幹也, 中原清美, 名越由紀, 平田麗, 藤原順子, 松村年美,

議事：

連絡事項

1. 井原市, 新見市での出張相談の報告.

今年度後半の出張相談は, 参加者が少なかったので, 来年度以降は先に講演を行うなど人を集めやすくする工夫をしてみる予定. また, 広報活動も出来るだけ早めに行い, 広報期間に余裕をもつことにしたい.

2. 「周産期医療に関わる医療スタッフのためのステップアッププログラム」を開催.

来年度以降, サポーターの会より演者をお願いするかもしれませんが, 宜しくお願い致します.

3. 「不妊・不育ところの研修会」のお知らせ

2008 年 3 月 14 日 (金) 18 時～19 時 30 分

会場：岡山大学医学部保健学科棟 3 階 301 大講義室

参加費：無料

演題 1

『虐待をするとき虐待者の心の中には何が起きているのか?』

ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科, 人間生活学研究科, 児童臨床研究所「清心こころの相談室」清板(せいた)芳子先生<臨床心理士>

演題 2

『いまさらだけど・・・月経のお話』

岡山大学病院産科婦人科 鎌田泰彦先生<産婦人科医>

協議事項

1. 不妊症女性のその後に妊娠, 分娩に関して

不妊治療専門施設として, 妊娠した方を紹介する側として, 紹介先へどこまでの情報を提供すれば良いのか(治療経過だけでなく, 看護ケアの中で得られる情報など), また紹介される側からも「このようにしてもらいたい, このような情報がもらいたい」ということも聞いてみたい.

普通の産科施設では, 「不妊治療で妊娠された女性だから・・・」と特別視されていないかも不安. また, 不妊症女性が, その後の妊娠, 分娩, 子育てで支障を感じていないか気になる. 調査してみでは?

2. 来年度の生殖医療サポーターの会 OKAYAMA の活動について

4月の定例会にて、年度計画を立案予定。

3. 3月の定例会は14日の「第3回不妊・不育とこころの研修会」終了後、連絡事項、協議事項などのみ行います。メンバーに配布したい資料などあれば準備を。

研修プログラム（当番：不妊・不育とこころの相談室）

1. 各自からの話題提供.

- ・ 2月3日開催の生殖医療心理カウンセリング学会に参加。その中で、自律訓練法を取り入れ、着床率を比較する研究報告や、妊娠判定（一）時のサポートとして、どのようなものがあるのかを検討した報告があった。また、不妊栄養カウンセラーが活性酸素を測定して、その結果によってサプリメントを使用することで、その後の妊娠率に影響を及ぼすという報告もあった。酸化ストレスの抑制は別にしても、胎児異常の予防のための葉酸に関して考えると、妊娠前からの摂取を啓蒙する意味では不妊治療施設の役割は大きいだろう。
- ・ 外来で患者さんを見ていても緊張で身体が硬くなっている方がおられ、そういう場合に自律訓練法を入れるのは良いのではないかと思う。喜びや笑いなどプラスに働く感情は、やはり身体にも良い影響を与えるはず。たまには、テレビやビデオ鑑賞で笑うなど、息抜きを入れることも必要なかもしれない。
- ・ 日本不妊カウンセリング学会のスキルアップセミナーに参加予定なので、また、報告します。
- ・ 代理出産に関して、今後どのようになるのか。現在、綱引き状態です。条件付で許可になる可能性も。
- ・ 1年間の自分の中での振り返りを行った。患者は妊娠するまでは栄養面でとても気を配るが、妊娠後の事はあまり考えられていないので、妊娠後のサポートも考えていかなければいけないと感じた。また、安易にサプリメントで摂取しがちだし、色々な情報源から、危険な物や高価なものを使用している場合もあるので、注意が必要だと感じている。
- ・ 患者が考えている AIH の妊娠率はとても高く、その分、期待感も強い。IVF-ET などでは、100% 妊娠すると考えている方もいる。そのギャップをこちらも意識しながら関わる必要がある。
- ・ 培養士としてのカウンセリングのあり方を考えた。卵に関してのカウンセリング、受精した段階から胚移植までの卵の成長やグレードなど詳しい説明などを伝えていくことも取り入れた方が良いのではないか？また、その都度、段階的に説明を加えていくことが必要なのではないか。
- ・ 妊娠した後、産科施設への紹介時の継続看護について。検査や治療に関してだけでなく、看護の面でも情報提供すべきなのではないかと考えている。
- ・ AIH は何回まで続けても良いのか？（Human Reproduction より）
- ・ 哺乳類の核小体は母親だけから遺伝し、受精卵の細胞分裂に欠かせない（読売新聞 2008 年 2 月 1 日 掲載）
- ・ 良好精子の選別を行うキットの導入に関して

文献

- ・ Biochemical markers of sperm function: male fertility and sperm selection for ICSI. (Reprod Biomed Online,2003 Oct-Nov;7(4):462-8)
- ・ Intracytoplasmic sperm injection: a novel selection method for sperm with normal

frequency of chromosomal aneuploidies. (Fertil Steril.2005 Dec;84(6):1665-73)

- ・ Fertility testing and ICSI sperm selection by hyaluronic acid binding:clinical and genetic aspects. (Reprod Biomed Online.2007 May;14(5):650-63)

- ・ 倉敷中央病院総合周産期センターの取り組み紹介. 未熟児になりそうな場合に紹介できる施設の1つ. (山陽新聞 2008年2月5日掲載).

2. Discussion

今回は「自分は不妊なのかな？」と感じ始めたが、まだ病院受診までは行っていない、という方向けのパンフレットの作成を考え、どのような内容を盛り込めば良いか皆様のご意見を伺いました。

- 1) 不妊症の定義を入れてはどうか？その事によって、どのくらいの割合で同じように悩んでいる人がいるのかが分かり、自分だけじゃない、と感じられるのでは？
- 2) 不妊治療施設でもがん検診などは受けられ、女性としてのご自身の身体を知る良い機会にもなりうる。
- 3) 受診前に準備していった方が良いもの
 - ・ 基礎体温表（無くて大丈夫。）
 - ・ 過去の月経周期のメモ書き
 - ・ 治療中や既往歴のある場合、前医やかかっている病院での検査結果、使用の薬がわかるものなどあれば。
 - ・ ネットなど利用できれば、事前に病院について確認しておくことも良い。診察時間や初診で予約をしていったほうが良いか、なども確認しておいたほうが良い。
 - ・ 健康保険証（保険がきくものが多い、ということも記載）
 - ・ 費用（1万円ぐらいあれば大丈夫なことが多い）
- 4) 受診する際の服装
 - ・ 内診などスムーズに進めるためには、下半身の衣類が着脱しやすいもの。フレアスカートなどがお勧めでは。ストッキングやタイツなどは時間が着脱に時間がかかり焦る場合も。
 - ・ 実際に検査や治療が始まったら採血や注射部位が出しやすい方が良い。
- 5) 受診前に知っておいた方が良い専門用語
 - ・ 月経周期
 - ・ 基礎体温
- 6) 受診に際し
 - ・ 夫婦二人で行くべきか、二人で相談していくべきか、パートナーには内緒で行っても可能か？などは各施設によって方針が異なります。不安な場合は事前に電話などで確認した方が安心です。（この件については、県内では拒否する施設はなさそうなので、記載しなくても良いのでは？という意見も）
 - ・ 上のお子さんを連れて行っても良いか？（事前に病院に確認したほうが良い。施設によっては、お子さん連れでも可能な受診時間を設けている場合もあります）
 - ・ あなたと同じように不妊で悩んで通院されている方は他にもいますよ。
- 7) まずは、「自分は不妊症なのかな？」と思ったら、とりあえず気軽に産婦人科で相談してみても？検査を受けてみて、自分に原因があるのかどうかを知る、（治療をしたくなければ、それも相談で

きる)ということも可能だということを記載しては？

- 8) 月経周期で考えると、いつの時期でも初診は OK だが、出来れば、生理中以外の方がその時に来る検査は多い。1回の受診も無駄にしたくない、という方のために記載した方が良いのでは？
- 9) 治療の進め方は、あなた方が決めて進めていきます。「この治療を」というように強制されることはありませんよ。

以上のような活発なご意見をいただき、ありがとうございました。皆様からいただいた内容を元に「なかなか妊娠しない」ということで悩まれる方へ向けて、「悩んでいるのは自分だけじゃないんだ」と感じていただけ、不妊治療施設への敷居が低くなるようなパンフレットを作成していきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

不妊・不育ところの相談室 江見弥生

2008年3月3日

生殖医療サポーターの会 OKAYAMA

事務局 中塚幹也